



月形町長 上 坂 隆 一 様

月形町地域拠点施設整備等に係る答申について

令和3年10月28日付け月企地号をもって諮問のありました事項にある「2道の駅の整備について」について、月形町地域拠点施設整備等審議会ではこれまで、5回の審議会を開催してきました。

このことについて、審議会委員から出された多くの意見を踏まえ、忌憚のない議論を行い答申内容をまとめましたので、別紙のとおり意見を付して答申いたします。

令和4年3月29日

月形町地域拠点施設整備等審議会

会 長	福 井	誠
副会長	廣 野	いづみ
	香 西	雅 之
	中 村	三賀子
	斎 藤	貴 子
	西 山	雅 俊
	廣 野	和 男
	松 浦	朝太郎
	松 山	俊 子
	熊 倉	な み
	高 畠	康 典
	本 多	大 輔
	鳥 潟	慎太郎
	伊 藤	格
	梅 木	悠 太
	加 藤	由 紀

記

1 道の駅の整備について

(1) 施設整備について

前回の答申にあるように、道の駅の整備で重要となるのは機能であります。道の駅の整備効果は、ドライバーの疲労回復、沿線地域の交通安全や移動環境向上などの社会的効果と集客による賑わいや地域産品の売上増、地域の関係人口の増などの経済効果が見込まれますので、これらの効果を活かせるよう魅力ある機能の整備が必要となります。

また、今後、道内全体及び月形町の人口が減少することが想定されていることから、住民生活の維持を図るため建設費から将来にわたる維持管理費等を考慮し、少ない投資で最大限の効果が得られるよう、既存施設の有効活用に務め、町全体の行政コストの平準化及び施設の適正化を図る必要があります。

当審議会としては、これらを踏まえた道の駅を整備することは適当であると判断します。

(2) 道の駅の設置場所について

町が進めている主要事業に、地域拠点施設の整備と皆楽公園エリアにある保養センター等改修事業がある中、道の駅の設置場所の審議を行いました。

地域拠点施設の整備場所は、義務教育学校設置の審議により大きく影響を受けるところであり、仮に小学校用地を活用することに決まったとしても、小学校移転後の対応となるため、道の駅を設置するに当たっては一定期間の時間を要することとなります。

また、市北地域は住宅街であり24時間のトイレを整備することにより、これまで無かった地域の環境変化が危惧されるところであります。

皆楽公園エリアは、すでにある観光拠点であり、既存施設の活用により整備費用の圧縮、整備時間の短縮が見込め、また、保養センター等改修事業の中で今以上に魅力を発信することができることから、皆楽公園が道の駅の設置場所として適地と考えられます。

よって、当審議会として考える道の駅の設置場所は、皆楽公園が適地であると判断します。

(3) 皆楽公園と道の駅の相乗効果について

町の観光拠点として既に位置づけのある皆楽公園に新たな集客を見込めるという視点からも、道の駅による町への貢献が期待できます。また、皆楽公園エリアにある周辺施設をより魅力的に再生することで、皆楽公園エリアだけで

はなく、その効果が月形町市街地及び町全体へ広がりを見せ、活気ある月形町のまちづくりに寄与することとなり、ひいては観光客の誘致につながることを期待されます。

このようなことから当審議会としては、様々な分野において、皆楽公園と道の駅の相乗効果が期待されると判断します。

月形町地域拠点施設整備等に係る付帯意見

1 魅力ある道の駅整備について

皆楽公園で整備する際に必要となる機能を意見としてまとめましたので、ご活用いただくとともに事業実施の際は積極的な採用を期待します。

(1) 休憩施設機能

- 誰もが安心して使用できる、明るく、清潔なトイレの整備
- 子育て支援として、ベビー・キッズコーナーの整備
- ふらっと立ち寄れるようなカフェ、レストランの整備

[主要機能]

- ・清潔な24時間トイレ
(利用者の安全な動線の確保、ゆとりあるレイアウト、各施設との連動性のある場所で整備)
- ・広い駐車場、広い区画
(大型トラック、自衛隊、一般長距離ドライブ、インバウンド)
- ・屋根付き駐車場(障がい者、妊婦向け屋根付き優先駐車スペース)
- ・車中泊可能なエリア
- ・カフェ、レストラン(日替わりフードコート、屋外テラス)
- ・自動販売機の活用
- ・ベビー・キッズコーナー(授乳室、おむつ自動販売機)
- ・アクアリウム
- ・ワーキングスペース
- ・施設全体のバリアフリー化
- ・一般休憩スペース
- ・フリーWi-Fi
- ・インフォメーション多言語化
- ・EV充電器ステーション

(2) 情報発信機能

- 町民や月形町を訪れた人に、地域の情報や道路、近隣地域の観光情報を発信するコーナーを整備

[主要機能]

- ・観光案内窓口
- ・道路情報、近隣「道の駅」・観光情報、緊急医療情報
- ・花のまちをアピールするスペース
(花のリース設置や花を活かすコーナー設置、花植イベントの開催)
- ・地域のイベント情報
- ・月形町の情報（歴史や観光スポット）
- ・道の駅スタンプラリー

(3) 地域連携機能

○親子で楽しめる空間として、多目的・観光エリアの整備

○町の特産品や農産物を販売できるエリアの整備

[主要機能]

- ・温泉（足湯の新設、露天風呂・サウナの拡充）
- ・屋内外遊戯場（季節や天候に左右されないもの）
- ・提案型のキャンププラン（ジンギスカン、温泉、星空、釣り）
- ・RVパーク（電源、広い区画）
- ・車中泊用のエリア分け（ペット同伴、有料ゴミ収集）
- ・キッチンカーエリア（電源、広い区画）
- ・地場産品の地域限定テイクアウト商品
(グルメ、スイーツ、ホットスナック、お土産商品、花関係の商品)
- ・ベーカリー（併設カフェ）
- ・体験農園、体験工房
- ・サイクルステーション
- ・コインランドリー
- ・ペットスペース（ドッグラン、洗い場）
- ・チャレンジショップエリア

(4) 防災拠点機能

○災害の際の避難施設として避難所及び備蓄倉庫機能の整備

○停電時でも電気供給することが出来るよう再生可能エネルギーを導入

[主要機能]

- ・一時避難場所（冬期）
- ・緊急用ヘリポート
- ・防災備蓄倉庫
- ・電源供給場所（車、パソコン、携帯）

- ・再生可能エネルギーの活用
- ・防災協定済の自動販売機（飲料、食料）

（５）周辺整備について

- 水辺の家の有効活用
 - ・キャンプ場の受付管理棟
 - ・情報発信拠点
 - ・トイレ拡充
 - ・コインランドリー拡充
 - ・シャワー室設置
- アウトドア施設の拡張（コンセプトを設定したエリア分け）
 - ・カーサイト（電源、水場）
 - ・キャンピングカー、キャンピングトレーラー（電源）
 - ・ファミリーキャンプ
 - ・ソロキャンプ（バイク、自転車のツーリング）
 - ・グランピング
 - ・冬季用コテージ
 - ・設備更新（トイレ、炊事場、ベンチ、テーブル）
- アウトドアプランの充実
 - ・お手軽キャンプ
（ジンギスカン等の地元食材、温泉、星空などのお試し提案）
 - ・ジップラインやアスレチック設備
 - ・四輪バギーや水陸両用車等
 - ・冬キャンプ
（ワカサギ釣り、スノーモービル、スノーシュー体験）
- 施設への誘導、動線整備
 - ・国道から施設までの道路拡幅と複数動線を確保
- 施設出入り口の花壇、鉢植え、リースを設置
 - ・ガーデンエリア整備
- 国道から施設までの統一したデザイン、雰囲気づくり
 - ・廃屋の解消（空き家、工場）
- 樺戸博物館との連携